人が輝く

安全·安心

【基本理念】【将来像】

きいきと暮らし

輝

くま

【政策目標】

【基本施策】

誰もが快適に暮らせる都 市機能が充実したまちへ (都市基盤)P1~10

- ◆駅周辺・市街地の整備
- ◆公共交通機関の充実
- ◆道路の整備
- ◆計画的な土地利用の推進
- ◆下水道の整備
- ◆公園・緑地の整備
- ◆住宅の整備
- ◆地域に調和した景観の整備

豊かな生活を支える活力 ある産業を育むまちへ

- ◆企業誘致の推進・工業の振興
- ◆商業の振興・中心市街地の活性化
- ◆農林業の振興
- ◆観光業の振興

(**産業・経済**)P11~16

- ◆交通安全の推進
- ◆防犯対策の充実
- ◆消費生活の安全確保
- ◆省エネルギーの推進・新エネルギー の導入促進
- ◆上水道の整備
- ◆循環型社会の構築
- ◆環境保全の推進
- ◆協働によるまちづくりの推進

人と自然が調和し生活環 境が充実したまちへ (生活・環境)P17~26

災害に強く安心して暮らせるまちへ

(消防·防災)P27~32

◆消防・救急体制の充実

- ◆防災機能の整備・強化
- ◆防災体制の充実
- ◆地域防災力の向上

健康で笑顔があふれる のびやかなまちへ

(健康•福祉)P33~42

- ◆健康づくりの推進
- ◆地域医療の充実
- ◆子育て環境の充実
- ◆高齢者福祉や介護予防の充実
- ◆障がい者福祉の充実
- ◆地域福祉の充実
- ◆生活困窮者等の自立支援
- ◆社会保障制度の安定した運営

歴史・文化・未来を育む 学びのまちへ

(教育·文化)P43~52

◆創意ある学校教育の推進

- ◆学校施設の整備・充実
- ◆生涯学習の推進
- ◆生涯スポーツの推進
- ◆文化・芸術の推進
- ◆青少年の健全育成
- ◆歴史・文化財の保護・活用

時代の変化に的確に対 応できるまちへ (行政運営・経営)P53~62

- ◆積極的な情報発信と対話の充実
- ◆庁舎の整備·行政サービスの充実
- ◆地域情報化の推進
- ◆広域行政の推進
- ◆男女共同参画の推進
- ◆国際交流の推進
- ◆人材育成の強化
- ◆行財政改革の推進

政策

施策評価シートの読み方

基本施策

作成対象施策の基本情報

具体的取り組み例

・施策体系のどこに位置づくものか、具体的にどのような取り組みをしているかを記載しています。

評価コメント

1 総括評価

総括評価

・平成28年度末時点の内容を以下の主要事業の概要,成果指標,市民満足度調査から読み取り、どのような評価をしているかを記載しています。

В

・成果指標達成状況や市民満足度調査の結果をもとに以下の評価を定めています。

評価概要

- A···成果が認められ,順調。
- B···若干課題や問題があるが, 概ね順調。
- C···一部成果は認められるものの課題や問題があり、改善が必要。
- D·・・成果が認められず、廃止も含めた見直しが必要。
- A 順調
- B 概ね順調
- C 改善が必要
- D 見直しが必要

今後の方向性

・成果を踏まえ、今後の方向性や改善点等を記載しています。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】 事業の成果と今後の方向性

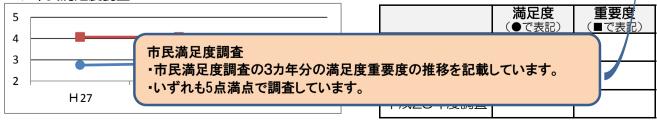
主要事業の概要

構成する事務事業の成果と今後の方向性を記載しています。

※主要事業は予算事業と一致していないことかめります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
	成果指標 ・石岡ふるさと再生プランに記載している	成果指	標の達成状	況を記載してい	,,



O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1駅周辺 • 市街地の整 備	А	石岡駅周辺整備事業の駅舎の橋上化及び東西理由 通路が平成27年度に,西口駅前広場とBRT駅前 広場が平成28年度に完成しました。完成により東 口利用者が大幅に増加し,西口駅前広場の混雑も解 消されました。	更なる賑わいづくり のため、駅西口側のス テーションパークの有 効活用の検討と駅東側 の鹿島鉄道跡地等を利 用した面的な整備を進 める必要があります。
2公共交通 機関の充実	В	少子高齢化により、地域公共交通の重要性が見直され、重要性が増すなか、乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をすることにより、移動制約者等の移動手段が確保できています。	路線バスや乗合いタ クシーへの補助等に加 え,今後も効率的な事 業展開と,他の団体と も連携し,更なる利用 促進活動を進める必要 があります。
3道路の整 備	В	幹線道路の整備については、既に完了した1路線を除く5路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。 既存道路の改良・拡幅整備については、必要・緊急性の高い箇所から待避所整備を進めており、市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて、限られた予算の中で効率的な事業を行っています。	道路の整備については、国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すともに、既存道路の改良・拡幅については、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的な事業を推進していきます。
4計画的な 土地利用の 推進	В	本市の将来像や目標,都市計画にかかわる基本的な方針を定めた新たな石岡市都市計画マスタープランを平成28年度に策定しました。 地籍調査事業においては,年次計画通りに実施し完了しています。	新たなマスタープラ ンを羅針盤とし、安心 安全で快適なまちづく りと効率的な土地利用 に努めてまいります。
5下水道の 整備	А	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき,下水道の効率的な整備を進めています。また,下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定,5箇年計画)に基づき,計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めています。	今後も引き続き,各計画に基づき,下水道の効率的な整備及び計画的な老朽化対策を進めていきます。

O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
6公園・緑 地の整備	В	公園施設の中でも最も更新の需要が見込まれる遊 具施設については、平成26年度に工事を実施した ため、以降における満足度調査の結果が横ばいと なっていると考えられます。現在は、計画に基づ き、工作物などの長寿命化工事を実施しておりま す。	公園の長寿命化は, の長寿命化計画 の長寿命とを の長寿命となる。 の長寿命となる。 の長寿命となる。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、
7住宅の整備	В	市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在まで計画的な改善事業が進められています。また、高齢者世帯や子育て世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通利便性の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までの対象物件入居率が6~7割前後で推移しています。	市民が快適に安心しているには、一下民が快適に安心に安心にをいるには、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下で
8地域に調 和した景観 の整備	В	開発許可案件における完了検査率は目標をやや下回ったものの、建築パトロールの実施件数は目標値を大きく上回っており、無秩序な宅地化や違反建築物の防止に関しては高い水準で成果を得ているといえ、市内における適正な土地利用ひいては秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。	目標に対する高い水 準を維持するために は,適切な行政指導と 地道な啓発活動を必要 とすることから,引き 続き計画的な事業実施 に努めます。

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ		
基本施策	O1駅周辺・市街地の整備		
具体的取り組み例	石岡駅舎の橋上化,駅周辺のバリアフリー化		

1 総括評価

	評価コメント
Α	石岡駅周辺整備事業の駅舎の橋上化及び東西理由通路が平成27年度に、西口駅前広場とBRT駅前広場が平成28年度に完成しました。完成により東口利用者が大幅に増加し、西口駅前広場の混雑も解消されました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	更なる賑わいづくりのため、駅西口側のステーションパークの有効活用 の検討と駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があ ります。

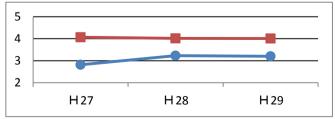
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
駐車場会計(総括) 【都市計画課】	駅舎の橋上化と自由通路の整備完了に伴い,利用率が増加しております。駐車 場の拡大なども視野に入れ,利用しやすい駐車場の運営に努めていきます。
駅周辺整備基金費 【都市計画課】	基金については段階的に取崩し、事業費に充てていく計画であります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本 計画で設定された数値目標	人	4,850 (H21)	4,880	3,985
交通バリアフリー(特定 旅客施設)整備率	駅舎, 自由通路のバリアフ リー化率	%	20.0 (H22)	40	78.75
東西自由通路の歩行者通 行量	東西自由通路の歩行者数	人	1,459 (H22)	1,750	2,680
市営駐車場利用率	一日平均利用台数	%	69.1 (H24)	70	95.2



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.82	4.07
平成28年度調査	3.23	4.02
平成29年度調査	3.21	4.01

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ		
基本施策	O2公共交通機関の充実		
具体的取り組み例	乗合タクシーの運行,路線バスの運行補助,バス専用道路の整備促進		

1 総括評価

	評価コメント
В	少子高齢化により、地域公共交通の重要性が見直され、重要性が増すなか、乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をすることにより、移動制約者等の移動手段が確保できています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	路線バスや乗合いタクシーへの補助等に加え、今後も効率的な事業展開と、他の団体とも連携し、更なる利用促進活動を進める必要があります。

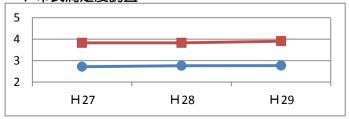
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
地域交通対策事業【都市計画課】	移動制約者への移動手段を確保することができている。更なる利用促進 のため、利用方法や情報誌などにより広く知ってもらうための周知等を行 います。		

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
市内主要公共交通機関利 用者数	1日当りの市内主要公共交通 機関利用者数	人/日	7,954 (H24)	8,000	7,777



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.72	3.83
平成28年度調査	2.76	3.83
平成29年度調査	2.77	3.91

政策目標 O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ			たまちへ	
基本施策	O3道路の整備			
具体的取り組み例	道路の改良,	拡幅整備,	維持管理,	補修

1 総括評価

	評価コメント
В	幹線道路の整備については、既に完了した1路線を除く5路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。 既存道路の改良・拡幅整備については、必要・緊急性の高い箇所から待避所整備を進めており、市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて、限られた予算の中で効率的な事業を行っています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	道路の整備については、国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅については、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的な事業を推進していきます。

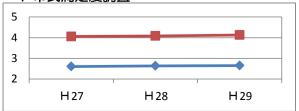
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
合併市町村幹線道路緊急	現在,5路線において用地買収及び改良工事を進めており,今後も国・
整備支援事業【都市計画	県補助金,合併特例債を活用して早期完成を目指します。
狭あい道路整備事業	本事業により、法令順守に対する住民への周知・啓発に一定の効果が期
【建築住宅指導課】	待できるため,今後も継続して取り組みます。
地方道路等整備事業	限られた予算の中で、事業計画に基づき効率・効果的に事業を進めてい
【道路建設課】	きます。
道路維持経費	補修要望が年々増加傾向にあり、全て対応することが難しいことから、
【道路建設課】	工事費の圧縮を行い,優先度の高い箇所から補修・改修を行います。
狭あい道路待避所整備事	限られた予算の中で、必要性・緊急性の高い箇所から効率的に整備を行
業【道路建設課】	います。

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
合併支援道路整備延長	合併支援道路整備延長(6路線)	m	0 (H22)	8,231	5,943
地方道路等の整備延長	地方道路等整備事業による道 路改良延長	m	6,332 (H22)	10,650	12,054
狭あい道路補助実施延長	狭あい道路整備事業により拡 幅整備した道路延長	m	369 (H22)	300	183
狭あい道路待避所整備箇 所数	狭あい道路待避所整備事業に よる整備箇所数	箇所	6 (H25)	34	16



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.60	4.06
平成28年度調査	2.64	4.08
平成29年度調査	2.65	4.13

政策目標		O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
	基本施策	O4計画的な土地利用の推進
	具体的取り組み例	効率的な土地利用を誘導する取組

1 総括評価

	評価コメント
В	本市の将来像や目標,都市計画にかかわる基本的な方針を定めた新たな石岡市都市計画マスタープランを平成28年度に策定しました。 地籍調査事業においては,年次計画通りに実施し完了しています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	新たなマスタープランを羅針盤とし、安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。

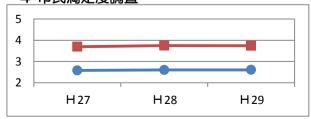
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
都市計画審議会経費 【都市計画課】	新たな石岡市都市計画マスタープランに基づき,集約型都市構造への転換を見据え立地適正化計画の策定を目指します。
都市計画一般経費 【都市計画課】	違法広告物の実態調査などを実施し、適正な設置の推進と土地利用を図り、良好な景観の形成に努めてまいります。
地籍調查事業 【地籍調查課】	年次計画に基づき、着実に事業を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
市街化区域内土地利用率	市街化区域内における都市的土地利用率	%	78.7 (H22)	79	80.7
国土利用計画法の制度周 知PR	国土法に基づく適正な取引促進 のための市報等でのPR回数		1 (H22)	4	4
国土利用計画法に基づく 事後届出の違反事案件数	提出期限後の届出等の違反事 案件数		7 (H25)	2	4



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.58	3.70
平成28年度調査	2.60	3.75
平成29年度調査	2.61	3.74

ĺ	政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ	
	基本施策	05下水道の整備	
	具体的取り組み例	下水道の整備,合併浄化槽の補助	

1 総括評価

	評価コメント		
Α	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき、下水道の効率的な整備を進めています。また、下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定、5箇年計画)に基づき、計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めています。		
A 順調	今後の方向性		
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後も引き続き,各計画に基づき,下水道の効率的な整備及び計画的な 老朽化対策を進めていきます。		

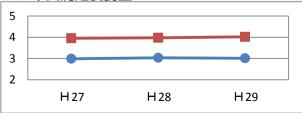
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
下水道会計(総括) 【下水道課】	老朽化した管渠・施設機器類の計画的な修繕・改築を行うため、ストックマネジメント計画の策定に取り組んで行きます。		
農業集落排水事業会計 (総括)【下水道課】	末接続者への戸別訪問等による接続依頼を継続し、接続向上に取り組んで行きます。		

<u>※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。</u>

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
生活排水処理総合普及率	処理区域人口/行政人口	%	75.7 (H22)	80	84.8
水洗化普及率(下水道)	水洗化済人口/処理区域人口	%	77.9 (H22)	82.2	85.4
水洗化普及率(農業集落 排水)	水洗化済戸数/処理区域戸数	%	56.1 (H22)	65	64.7



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.99	3.95
平成28年度調査	3.03	3.98
平成29年度調査	3.01	4.02

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ		
基本施策	O6公園・緑地の整備		
具体的取り組み例	公園長寿命化計画に基づく維持管理、公園里親の募集		

1 総括評価

	評価コメント
В	公園施設の中でも最も更新の需要が見込まれる遊具施設については、平成26年度に工事を実施したため、以降における満足度調査の結果が横ばいとなっていると考えられます。現在は、計画に基づき、工作物などの長寿命化工事を実施しております。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	公園の長寿命化は、公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで 実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては、引き続き募 集を募り、公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。

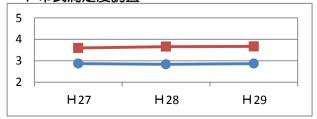
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
桜づつみ維持管理経費 【まちづくり協働課】	エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の 登録者の増加を図ります。
公園維持管理経費【都市計画課】	公園施設長寿命化計画に基づき、平成26年度からの10箇年で緊急性 の高い公園施設から順次工事を実施しております。安心して利用できる公 園を目指し、日常的に維持管理を行ってまいります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
公園長寿命化計画	都市公園改修施設箇所	箇所	0 (H24)	26	13
公園里親制度加入団体数	公園里親制度への加入団体数	団体	7 (H22)	10	7



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.87	3.60
平成28年度調査	2.84	3.66
平成29年度調査	2.87	3.67

政策目標	11誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ		
基本施策	07住宅の整備		
具体的取り組み例	市営住宅の整備・改修,木造住宅耐震改修の促進		

1 総括評価

	評価コメント
В	市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在まで計画的な改善事業が進められています。また、高齢者世帯や子育て世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通利便性の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までの対象物件入居率が6~7割前後で推移しています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	市民が快適に安心して暮らせるためには,住宅の計画的な長寿命化や,民間住宅の効率的な活用等を通じて,暮らしやすい環境を整備することが重要であることから,今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。

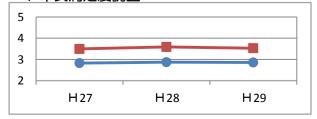
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
市営住宅長寿命化改修事 業【建築住宅指導課】	長寿命化改修計画に基づき順次,改修工事を実施します。
木の住まい助成事業 【建築住宅指導課】	定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから、事業継続が望ましいと考えます。
賃貸住宅ストック事業 【建築住宅指導課】	民間賃貸住宅の活用について,市民への周知徹底を図るとともに,高齢者世帯や子育て世帯等の配慮すべき世帯の住居の安定に努めます。
住まいづくり推進事業 【建築住宅指導課】	市外住民に対する事業であり、主に若年者の定住人口増加に寄与する事業と考えられるため、事業継続が望ましいと考えられます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
市営住宅長寿命化改修事 業	改修棟数	棟	7 (H23)	24	4
ストック活用賃貸住宅入 居世帯	制度活用により認定住宅に入 居した世帯数	世帯	14 (H23)	30	16
				_	



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.83	3.50
平成28年度調査	2.87	3.59
平成29年度調査	2.86	3.53

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ			
基本施策	08地域に調和した景観の整備			
具体的取り組み例	景観条例の適正な運用による良好な景観の保全,無秩序 な宅地化や違反建築の防止			

1 総括評価

	評価コメント
В	開発許可案件における完了検査率は目標をやや下回ったものの、建築パトロールの実施件数は目標値を大きく上回っており、無秩序な宅地化や違反建築物の防止に関しては高い水準で成果を得ているといえ、市内における適正な土地利用ひいては秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	目標に対する高い水準を維持するためには,適切な行政指導と地道な啓 発活動を必要とすることから,引き続き計画的な事業実施に努めます。

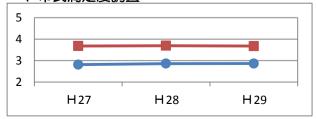
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
宅地開発指導経費	完了検査率は高い水準にあり、引き続き、啓発リーフレットの作成・配布
【建築住宅指導課】	や、現地パトロール等を実施することで達成水準の維持に努めます。
建築指導事業	違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており上位目標の達成においても
【建築住宅指導課】	有効な事業であると考えられることから,引き続き適正な実施に努めます。
都市計画一般経費 【都市計画課】	違法広告物の実態調査などを実施し、適正な設置の推進と土地利用を図り、良好な景観の形成に努めてまいります。

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
建築パトロール	パトロール実施件数	件	74 (H24)	60	108
完了検査率	開発許可件数に対する完了検 査の受検数	%	131 (H22)	85	70.97
				_	



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.81	3.68
平成28年度調査	2.86	3.69
平成29年度調査	2.86	3.68

O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1企業誘致 の推進・工 業の振興	В	石岡小美玉スマートICが整備されたことにより, 交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果,柏原工業団地を中心に新規企業の立地が進み,成果指標の目標を達成しました。 また,就職支援事業では,県内及び首都圏の大学等へ周知・広報を強化し,就職説明会を2回開催して目標を達成するなど,労働力の確保に努めています。	雇用の創出に向け, 引き続き新規企業の誘 致と既存企業の事業拡 大・撤退抑止に努め, 地域産業の維持・振興 を図っていきます。
2商業の振興・中心市 街地の活性 化	С	商工振興に関しては、様々な施策を実施しておりますが、成果指標の目標値に至っていません。中心市街地空き店舗活用支援事業については、一定の成果を挙げていますが、居住人口や歩行者通行量の増加に繋がっていない状況です。	中心市街地活性化基本計画(第2期)の実施事業を行う中で,快適で安心して暮らせ,様々な人々が行き交い賑わうまちづくりを推進していきます。
3農林業の 振興	В	農地中間管理事業等により農地の集積・集約化が 進みつつあり、経営転換や高齢化等による離農対策 に寄与してます。 農作物の販売においては、直売所の伸びととも に、産地・大学等の新たな連携による、高品質な果 樹のブランド創りに取り組み、今後、知名度アッ プ、ブランドアップに期待が持てます。一方で、農 業従事者については、高齢化が進む中で、後継者担 い手、新規就農者の確保・育成が課題となっていま す。	農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し、魅力ある農業を目指します。また、集落営します。人化や担い手・就農者の確保・育成を行っていきます。
4観光業の振興	А	石岡市への観光入込客数は、当初の目標を達成できました。平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており、計画の優先事業に取り組んだ結果、平成27年度実績では1,350,500人であり、計画における観光入込客数は概ね順調です。	豊かな自然と歴史的 資産を活かした観光に 到産を活がくりの明まま ではいるののでは をはいるのでは をはいるでは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ			
基本施策	O1企業誘致の推進・工業の振興			
具体的取り組み例	企業誘致の推進や地域に根付いた産業の活性化,就職相 談会や面接会の実施			

1 総括評価

	評価コメント
В	石岡小美玉スマートICが整備されたことにより、交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果、柏原工業団地を中心に新規企業の立地が進み、成果指標の目標を達成しました。また、就職支援事業では、県内及び首都圏の大学等へ周知・広報を強化し、就職説明会を2回開催して目標を達成するなど、労働力の確保に努めています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	雇用の創出に向け、引き続き新規企業の誘致と既存企業の事業拡大・撤退抑止に努め、地域産業の維持・振興を図っていきます。

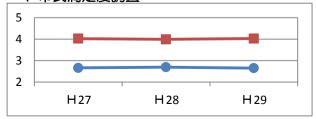
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
企業誘致推進事業 【商工課】	遊休地への立地促進だけでなく既存企業の事業拡大及び撤退抑止など,企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めていきます。
就職支援事業 【商工課】	若い労働力を確保したい中小企業と、地元志向の学生とのマッチングを推進し、定住人口の減少に歯止めをかけられるよう事業の推進を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
柏原工業団地の土地利用 率	柏原工業団地の敷地面積のうち工場 等家屋の建築面積の占める割合	%	28.96 (H22)	31.8	32.9
就職相談会,面接会の実 施件数	企業の就職相談会及び面接会 を開催する件数		0 (H22)	2	2



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.66	4.03
平成28年度調査	2.70	3.99
平成29年度調査	2.65	4.03

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		
基本施策	O2商業の振興・中心市街地の活性化		
具体的取り組み例	特産物の魅力アップや商品化の支援,中心市街地での新 規出店者支援		

1 総括評価

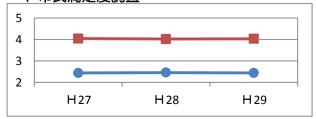
	評価コメント
C	商工振興に関しては、様々な施策を実施しておりますが、成果指標の目標値に至っていません。中心市街地空き店舗活用支援事業については、一定の成果を挙げていますが、居住人口や歩行者通行量の増加に繋がっていない状況です。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	中心市街地活性化基本計画(第2期)の実施事業を行う中で、快適で安心して暮らせ、様々な人々が行き交い賑わうまちづくりを推進していきます。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
商工振興事業 【商工課】	関係団体等と協力し、魅力ある商店街の創出を検討し、交流人口の拡大を 図ります。
中心市街地活性化事業【商工課】	中心市街地活性化基本計画(第2期)の中で, 見直しが必要な事業については, 事業の実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本 計画で設定された数値目標	人	4,850 (H21)	4,880	3,985
中心市街地の歩行者通行 量	石岡市中心市街地活性化基本 計画で設定された数値目標	人	2,644 (H20)	2,780	2,283
年間商業販売額	商業統計調査による市内商業 販売額	億円	1,191 (H22)	1,191	1,053
中小企業事業資金保証料 補給金件数	事業資金の融資を斡旋しその 保証料を補給する件数	件	149 (H22)	200	130



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.44	4.04
平成28年度調査	2.46	4.02
平成29年度調査	2.44	4.03

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ		
基本施策	O3農林業の振興		
具体的取り組み例	農産物の品質向上やブランド化の推進,新規就農者支援		

1 総括評価

	評価コメント
В	農地中間管理事業等により農地の集積・集約化が進みつつあり、経営転換 や高齢化等による離農対策に寄与してます。 農作物の販売においては、直売所の伸びとともに、産地・大学等の新たな 連携による、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、知名度アッ プ、ブランドアップに期待が持てます。一方で、農業従事者については、高 齢化が進む中で、後継者担い手、新規就農者の確保・育成が課題となってい ます。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し、魅力ある農業、儲かる農業を目指します。また、集落営農の法人化や担い手・就農者の確保・育成を行っていきます。

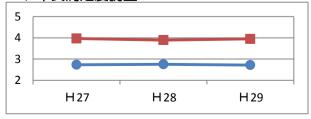
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
農業委員会一般経費 【農業委員会事務局】	農地中間管理事業を活用した利用権設定件数は一定の成果が得られました。今後は農地を面的集積し担い手に貸し出すことで大規模経営体の育成が必要です。
農力アップ推進事業	県外においてPRを実施しており、一定の知名度アップは図られている。今後
【農政課】	も、魅力アップ・ブランドアップに注力し、継続した事業運営が必要です。
新規就農者支援対策経費	積極的なPR活動を展開し、新規就農者の確保を目指すとともに農業次世代人
【農政課】	材投資資金、朝日里山ファームの研修システムを活用して支援していきます。

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
農地利用権設定面積	農地の流動化推進と集積	ha	413 (H25)	718	610
人・農地プラン策定地区数	人・農地プランにおいて地域 ごとの計画を策定する地区	地区	12 (H25)	20	18
直売売上額	直売による売上額	千円	800,000 (H25)	900,000	1,108,137
森林ボランティア数	市内森林の維持管理ボラン ティア新規登録者数	人	9 (H25)	24	20



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.73	3.97
平成28年度調査	2.76	3.89
平成29年度調査	2.71	3.95

Ī	政策目標		O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
		基本施策	O4観光業の振興
		具体的取り組み例	魅力的な観光地(フラワーパークなど)づくり,観光交流による地域活性化

1 総括評価

	評価コメント
Α	石岡市への観光入込客数は、当初の目標を達成できました。平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており、計画の優先事業に取り組んだ結果、平成27年度実績では1,350,500人であり、計画における観光入込客数は概ね順調です。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため、観光振興計画に基づき、観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。また、ジオパークを観光資源と位置づけ、石岡市の魅力アップに繋げます。

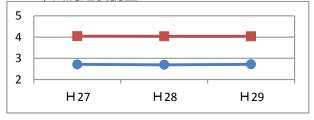
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
筑波山地域ジオパーク推 進事業【観光課】	継続的な事業実施により、少しずつジオパーク活動への理解や協力を得られるようになってきました。ジオツアー等の参加者も徐々に増加しており、市内の市民団体の方も協議会のイベント等へ参加していただいています。今後も市民団体や関係団体の一層の参加を引き出すべく協力依頼や情報提供を行い、地域全体でジオパーク活用に向けた取組を推進していきたいと考えます。
観光対策経費【観光課】	地域特性を活かした観光エリアの魅力アップ,周遊できる環境づくり, 石岡ブランドの確立とPRに取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
入込観光客数	茨城県観光客動態調査による	人	835,400 (H21)	1,250,000	1,350,500 (H27)



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.71	4.04
平成28年度調査	2.69	4.03
平成29年度調査	2.72	4.03

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1交通安全 の推進	В	交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全 意識の向上や交通安全施設の整備が一定程度進んで いるといえます。	交通安全に関する意 識向上を引き続き図 り、交通事故のない安 全なまちを目指しま す。
2防犯対策 の充実	В	防犯灯の設置等が進んでおり、刑法犯罪件数の減少も見られることから、安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地 域環境をつくりだしていきます。
3消費生活 の安全確保	В	日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り、増加傾向にある苦情や相談等に対応し、消費者意識の向上を図っています。	市民生活の安定及び 向上を目指します。
4省エネの 推進・新工 ネルギー導 入促進	В	新庁舎建設事業では、石岡市の気候風土を活かした省エネルギー手法を取り込み、地域に根付く環境配慮型庁舎を計画しています。 一方省エネルギーの推進では、市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減(原油換算)を達成していることから、現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。	新庁舎建設事業では,環境に配慮した新庁舎の建設を進めっます。省エネルギー・節電といての意識を関いていての意識を関います。 尚一層の組み, はを図ります。
5上水道の 整備	С	現状,有収率向上のための定期的な漏水調査の取り組みについては効果が認められますが,管の老朽化のため漏水の発生頻度が増加傾向にあります。更新については,財源,人材共に乏しく十分な更新が出来ているとは言いがたい状況ではありますが,漏水多発区域(トーホーランド)の布設替工事を平成28年度より着手しました。	安全で安定した水道 水を供給するための施 設管理及び漏水調査の 回数を増やすと共に, 老朽化施設の効率的な 更新を行います。

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性	
6循環型社 会の構築	В	環境監視員の活動等により,不法投棄の早期発見につながっています。 1人当たりの年間ごみ排出量については,引き続き排出段階時におけるごみの減量化について,周知方法や取り組みを検討していきます。	更なるごみの減量化 やリサイクル推進のた め,市民に関心を持っ てもらえるよう広報紙 を含めた啓発の充実を 図っていきます。	
7環境保全の推進	В	河川水質等の分析及び公害等の各種調査・分析を行っております。現状の検査結果等では異常値はないことから、環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。また、身近なみどり整備推進事業では、計画時早急な対応が必要と判定された森林は、計画に沿った間伐等が進んでいますが、計画策定後に荒廃が進んだ森林については現状をみながら進めざるを得ない状況です。	水質を浄化の啓発活 動とともに生活排水を 処理できる環境を整え る必要がありた森林の ででがあいた森林の ででがあいた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
8協働によ るまちづく りの推進	А	石岡市協働のまちづくり条例施行後,市民満足度 は向上しており,一定の成果を上げているといえます。	常に協働によるまち づくりを意識し,ひざ を交えてパートナー (市民)と話し合いな がら,市民活動に参加 しやすい環境づくりを 進めます。	

政策目標		03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策		O1交通安全の推進
具体的取り	且み例	安全で安心な道路・歩道環境の整備

1 総括評価

	評価コメント
В	交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全 施設の整備が一定程度進んでいるといえます。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	交通安全に関する意識向上を引き続き図り, 交通事故のない安全なまちを目指します。

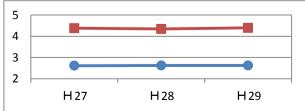
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
交通安全対策経費 【まちづくり協働課】	更なる交通安全への意識啓発を進めていきます。
交通安全施設整備事業 【道路建設課】	限られた予算の中で、必要性・緊急性の高い箇所から効率的に整備を行います。

<u>※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。</u>

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
交通事故死者数	石岡市の年間交通事故死者数	人	8 (H22)	0	3
交通事故件数	石岡市の年間交通事故件数	件	300 (H22)	270	257



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.61	4.38
平成28年度調査	2.62	4.34
平成29年度調査	2.62	4.40

Ī	政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		
	基本施策	O2防犯対策の充実		
	具体的取り組み例	地域との協働による防犯環境の向上, 街路灯・防犯灯の 設置, エンゼルパトロールの実施		

1 総括評価

	評価コメント
В	防犯灯の設置等が進んでおり、刑法犯罪件数の減少も見られることから、安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。

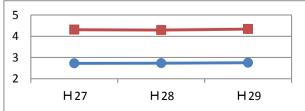
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
安全・安心まちづくり推進 事業【まちづくり協働課】	エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の登録者の増加を図ります。		
街路灯・防犯灯事業 【まちづくり協働課】	必要な場所への防犯灯・街路灯の整備を進めます。		

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
防犯灯設置及び器具等交 換灯数	市内の防犯灯設置及び器具等 交換灯数	灯	207 (H24)	660	718
エンゼルパトロール登録 者数	登録者数	人	986 (H22)	1000	897
刑法犯罪件数	石岡市の刑法犯の件数	件	983 (H22)	830	726
				_	



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.72	4.31
平成28年度調査	2.73	4.29
平成29年度調査	2.75	4.34

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		
基本施策	03消費生活の安全確保		
具体的取り組み例	消費生活センターの設置,消費生活に関する苦情・相談 の受付対応		

1 総括評価

	評価コメント
В	日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費 生活センターの体制強化を図り、増加傾向にある苦情や相談等に対応し、 消費者意識の向上を図っています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	市民生活の安定及び向上を目指します。

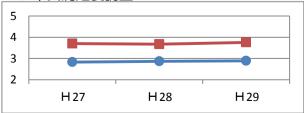
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
消費者保護育成事業 【まちづくり協働課】	消費者へのバックアップ体制の整ったまちを目指します。		

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
相談件数	消費者トラブル等相談	件	399 (H22)	270	397
出前講座	消費生活に関する出前講座		4 (H22)	7	2
消費者トラブル発生件数	消費者トラブルの年間発生件 数	件	341 (H22)	250	338



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.83	3.70
平成28年度調査	2.87	3.68
平成29年度調査	2.89	3.76

Ī	政策目標	3人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		
	基本施策	O4省エネの推進・新エネルギー導入促進		
	具体的取り組み例	省エネキャンペーンの実施,公共施設における自然エネ ルギーの有効活用		

1 総括評価

	評価コメント
В	新庁舎建設事業では、石岡市の気候風土を活かした省エネルギー手法を取り込み、地域に根付く環境配慮型庁舎を計画しています。 一方省エネルギーの推進では、市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減(原油換算)を達成していることから、現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	新庁舎建設事業では、環境に配慮した新庁舎の建設を進めます。省エネルギーの推進では、省エネ・節電についての意識啓発に取り組み、尚一層の推進を図ります。

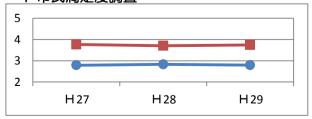
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新庁舎建設事業 【管財課】	新庁舎建設工事の進捗状況など,適切な時期に広報等を行い,市民の理解を得ながら早期の完成を目指します。
省エネルギーの推進・新エネル ギーの導入促進【生活環境課】	市の施設においてエネルギー使用量の削減に努めることで,5年間で 5%以上削減(原油換算)を達成していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
市の施設のエネルギー使 用量	省エネ法に基づくエネルギー使用量 5年で5%以上削減(原油換算)	kl	3,590 (H21)	3,374 (H27)	3,187
市の施設における新エネ ルギーの導入件数	市の施設における新エネル ギーの導入件数	件	1 (H23)	2	1
意識啓発活動	環境学習等の実施回数	件	0 (H24)	2	1



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.79	3.77
平成28年度調査	2.83	3.70
平成29年度調査	2.79	3.74

	政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		
	基本施策	05上水道の整備		
	具体的取り組み例	老朽化した配水管の更新や整備,安定供給のための経営 の効率化		

1 総括評価

	評価コメント
	現状、有収率向上のための定期的な漏水調査の取り組みについては効果が認められますが、管の老朽化のため漏水の発生頻度が増加傾向にあります。
	更新については、財源、人材共に乏しく十分な更新が出来ているとは言いがたい状況ではありますが、漏水多発区域(トーホーランド)の布設替工事を平成28年度より着手しました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	安全で安定した水道水を供給するための施設管理及び漏水調査の回数を増やすと共に、老朽化施設の効率的な更新を行います。

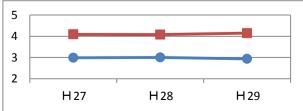
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性	
水道事業会計(総括) 【水道課】	高料金対策及び統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する経費について、地方公営企業繰出金について、(総務省自治財政局長通知)に基づき繰出すことにより、上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図っています。	

<u>※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。</u>

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
有収率	有収水量÷配水量	%	76 (H22)	85	75.18



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.99	4.09
平成28年度調査	3.00	4.08
平成29年度調査	2.93	4.15

	政策目標	O3人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ		
	基本施策	O6循環型社会の構築		
	具体的取り組み例	ごみの減量化・リサイクルの推進,環境監視委員による パトロール		

1 総括評価

	評価コメント
В	環境監視員の活動等により、不法投棄の早期発見につながっています。 1人当たりの年間ごみ排出量については、引き続き排出段階時における ごみの減量化について、周知方法や取り組みを検討していきます。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	更なるごみの減量化やリサイクル推進のため,市民に関心を持ってもら えるよう広報紙を含めた啓発の充実を図っていきます。

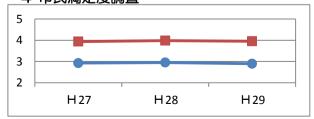
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性			
ごみ減量・資源化推進事 業【生活環境課】	集団回収によるごみの減量化やリサイクルを促進するためには,新規登録 団体や実施回数を増やすとともに,広報紙等による周知活動が必要です。			

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
資源化率	年間に排出されるごみ量に占 める資源ごみの割合	%	4.16 (H22)	15	17.56
1人当たりの年間ごみ排 出量	1人当たりの年間ごみ排出量	kg	323 (H22)	322	348
し尿の年間汲み取り量	年間に汲み取りされる量	kì	2,937 (H22)	2,307	1,819



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.93	3.94
平成28年度調査	2.95	3.98
平成29年度調査	2.89	3.95

政策目標 03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ				
基本施策 O7環境保全の推進				
具体的取り組み例	霞ヶ浦の水質検査や清掃活動,森林の間伐・整備による 里山の保全			

1 総括評価

	評価コメント
В	河川水質等の分析及び公害等の各種調査・分析を行っております。現状の検査結果等では異常値はないことから、環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。また、身近なみどり整備推進事業では、計画時早急な対応が必要と判定された森林は、計画に沿った間伐等が進んでいますが、計画策定後に荒廃が進んだ森林については現状をみながら進めざるを得ない状況です。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	水質を浄化の啓発活動とともに生活排水を処理できる環境を整える必要が あります。また、荒廃した森林の間伐や県の森林湖沼環境税を活用し、市民 提案による整備を支援していきます。

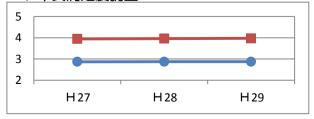
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性			
霞ヶ浦浄化対策経費 【生活環境課】	河川湖沼などの公共水域及び地下水の汚染を防止するため、工場への立 入検査や河川・池沼等の水質の常時監視を継続して実施しています。			
霞ヶ浦浄化対策経費 【下水道課】	国,県に本事業の維持及び拡大を要望し,事業の推進に努めます。			
公害対策経費 【生活環境課】	不法投棄された箇所等の水質調査を行っていますが,安全性が確認されているので,この分析をいつまで継続するのか検討していきます。			
身近なみどり整備推進事 業【農政課】	生活圏に近い荒廃した森林を整備することにより、安全な地域環境を創出していきます。			

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
霞ヶ浦(西浦)のCOD	霞ヶ浦(西浦)におけるCODの年 平均値(湖沼水質保全計画6期)	mg/l	8.7 (H22)	7	8.2
公害苦情受理件数	大気汚染, 水質汚濁, 騒音・振動, 悪臭等に関する年間苦情件数	件	18 (H22)	15	13
里山整備箇所数	里山事業を取り入れた整備を 実施する箇所数	箇所	0	2	0
水洗化普及率(合併処理 浄化槽)	水洗化済人口/処理区域人口	%	18.4 (H24)	20.5	20.4



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.87	3.94
平成28年度調査	2.87	3.96
平成29年度調査	2.87	3.97

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ			
基本施策	O8協働によるまちづくりの推進			
具体的取り組み例	協働のまちづくり条例の推進, まちづくりについての情 報発信			

1 総括評価

	評価コメント		
Α	石岡市協働のまちづくり条例施行後,市民満足度は向上しており,一定 の成果を上げているといえます。		
A 順調	今後の方向性		
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	常に協働によるまちづくりを意識し、ひざを交えてパートナー(市民) と話し合いながら、市民活動に参加しやすい環境づくりを進めます。		

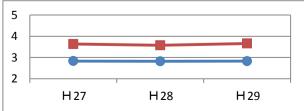
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性			
協働まちづくり推進事業 【まちづくり協働課】	「石岡市協働のまちづくり条例」に示された協働の理念により、現在市民と協力し、行われている事業を分析し、その事業の発展向上を目指します。			

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
協働活動事例の周知	「協働」の取り組み事例を広報誌・HPへの掲載事例数	事例	3	10	10



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.83	3.63
平成28年度調査	2.82	3.58
平成29年度調査	2.83	3.66

O4災害に強く安心して暮らせるまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1消防・救 急体制の充 実	А	市民の生命・身体の保全を図るため、救急資機材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行してきました。救急医療体制の高度化に伴い、専門技能を有する救命士の育成を図りました。応急手当の普及啓発活動(救急講習会)を実施し、バイスタンダーを育成して救命率の向上を目指しました。	市民の安全・安心を 確保するためには、救 急資機材の継続的な整 備,応急手当の普及啓 発,また,消防士・救 急隊員の育成が必要で す。
2防災機能 の整備・強 化	В	平成27年度より、市内全域で防災行政無線の運用を開始し、市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また、平成8年度より運用している「ぼうさいやさと」との一元化に向けた統合を検討し、平成34年度運用開始を目指し取り組んでいます。	今後も適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めます。また、被災者の福祉及び生活の安定を目指します。
3防災体制 の充実	В	土砂災害ハザードマップを更新し,危険区域における安全な避難ルートや避難所等を市民に周知することで,災害時のスムーズな避難体制づくりを実施してきました。また,災害時に市民が必要とする業務の継続,早期の復旧が可能となるよう,業務継続計画(BCP)訓練を実施しました。	災害時に,市内全域 で自助・共助・公助が 効率的に行える体制づ くりを今後も継続して 実施していきます。
4地域防災 力の向上	В	行政と市民が防災に関する情報を共有し、自主防 災組織の設立促進や域防災訓練を通して地域防災力 の向上を実施してきました。また、地域防災訓練時 にも住宅用火災警報器の設置を促進することで、市 民の防災意識の向上を図り、安全確保に努めてきま した。	自主防災組織率が, 県平均を上回るよう積 極的に推進するととも に,防災訓練への参加 を促進し,地域防災力 の向上に努めます。

I	政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ		
	基本施策	O1消防・救急体制の充実		
	具体的取り組み例	救急講習会の開催,消防士・救急救命士の技能向上		

1 総括評価

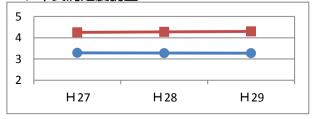
	評価コメント
Α	市民の生命・身体の保全を図るため、救急資機材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行してきました。救急医療体制の高度化に伴い、専門技能を有する救命士の育成を図りました。応急手当の普及啓発活動(救急講習会)を実施し、バイスタンダーを育成して救命率の向上を目指しました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	市民の安全・安心を確保するためには、救急資機材の継続的な整備、応急手当の普及啓発、また、消防士・救急隊員の育成が必要です。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性	
消防機械整備事業(補 助)【総務課(消防)】	更新計画に沿って継続的に実施していく必要があります。	
消防機械整備事業(単 独)【総務課(消防)】	更新計画に沿って継続的に実施していく必要があります。	
救急活動経費 【警防課(消防)】	救急車の資機材は定期的な点検が必要で,更新時に多額の経費を要しま す。救命講習会にて使用頻度が高い資器材を更新していく必要があります。	

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
救命率	家族等に応急手当を実施され た傷病者の1カ月後生存率	%	5.3 (H24)	5.4	13.3
消防救急無線デジタル化 事業	消防救急無線デジタル化及び指令センターの共同整備,共同運用を行う。	台	0	20	20
				_	



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.29	4.25
平成28年度調査	3.28	4.27
平成29年度調査	3.28	4.30

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ		
基本施策	O2防災機能の整備・強化		
具体的取り組み例	防災行政無線の積極的な運用,避難所の防災倉庫や備蓄 品の適正な管理		

1 総括評価

	評価コメント		
В	平成27年度より、市内全域で防災行政無線の運用を開始し、市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また、平成8年度より運用している「ぼうさいやさと」との一元化に向けた統合を検討し、平成34年度運用開始を目指し取り組んでいます。		
A 順調	今後の方向性		
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後も適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めます。また,被災者の福祉及び生活の安定を目指します。		

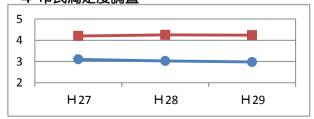
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
防災行政無線管理運用経 費【防災対策課】	市内全域で防災行政無線を運用し、市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。今後も継続して適正な運用管理を図っていきます。		
地震災害支援経費 【社会福祉課】	災害によって被害を受けた市民に対して応急援護を図る見舞金支給事業であり、被災者の経済的な不安を和らげることができるようにしていきます。		
防災対策経費 【総務課(支所)】	防災行政無線により,市民が必要とする情報等を一斉伝達しています。将来的 にデジタル化へ移行する必要があります。		

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
防災行政無線の整備	防災行政無線の伝達範囲を市内 全域とする(石岡・八郷地区)	地区	1 (H25)	2	2
災害援護資金貸付件数	東日本大震災の被災世帯への貸付延べ件 数	世帯	9 (H25)	10	9
急傾斜地崩壊対策整備延 長	急傾斜地崩壊対策事業による 整備延長	m	271 (H25)	372	305
				_	



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.10	4.20
平成28年度調査	3.02	4.25
平成29年度調査	2.98	4.24

	政策目標	4災害に強く安心して暮らせるまちへ				
基本施策 O3防災体制の充実						
	具体的取り組み例	ハザードマップの配布,業務継続計画(BCP)の運用				

1 総括評価

	評価コメント
В	土砂災害ハザードマップを更新し、危険区域における安全な避難ルートや避難所等を市民に周知することで、災害時のスムーズな避難体制づくりを実施してきました。また、災害時に市民が必要とする業務の継続、早期の復旧が可能となるよう、業務継続計画(BCP)訓練を実施しました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	災害時に,市内全域で自助・共助・公助が効率的に行える体制づくりを 今後も継続して実施していきます。

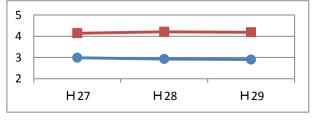
2 主要事業の概要

事業名【担当課】 事業の成果と今後の方向性		
防災対策経費 【防災対策課】	防災備蓄品については,消費期限等を考慮し,防災意識の啓発や教育等に有効 活用しています。また,訓練や研修等も継続的に実施していきます。	

<u>※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。</u>

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
防災情報の共有化	広報誌や防災講演会等による 情報共有		12 (H25)	16	16
災害時優先業務の早期復 旧	業務継続計画の策定	式	1	1	1



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.99	4.14
平成28年度調査	2.93	4.21
平成29年度調査	2.90	4.19

	政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ	
基本施策 O4地域防災力の向上			
	具体的取り組み	自主防災組織への支援,火災予防運動や危険物を通じた周知活動	安全週間

1 総括評価

	評価コメント
В	行政と市民が防災に関する情報を共有し、自主防災組織の設立促進や域防災訓練を通して地域防災力の向上を実施してきました。また、地域防災訓練時にも住宅用火災警報器の設置を促進することで、市民の防災意識の向上を図り、安全確保に努めてきました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	自主防災組織率が,県平均を上回るよう積極的に推進するとともに,防 災訓練への参加を促進し,地域防災力の向上に努めます。

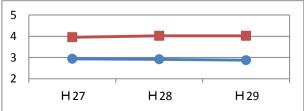
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
火災予防経費 【予防課(消防)】	市民の目線で広報活動を実施し、未設置者に理解を得る必要があります。		
防災訓練経費 【防災対策課】	地域住民が主体となった防災訓練の実施に向けて,出前講座等を実施していきます。		
自主防災組織活性化事業 地域での防災研修会などに積極的に参加し、自主防災組織の 【防災対策課】			

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
地域防災訓練の実施	地域住民が中心となった防災 訓練への参加人数(単年度)	人	60 (H24)	300	723
自主防災組織の設立促進	自主防災組織の設立組織数	組織	126 (H23)	150	154
自主防災組織の活性化	防災研修会等(単年度)		1 (H24)	2	2
住宅用火災警報器の設置	総務省消防庁発表の設置率茨 城県の推計値	%	60 (H24)	74.6	72.2



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.94	3.96
平成28年度調査	2.91	4.02
平成29年度調査	2.87	4.02

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1健康づく りの推進	В	成果指標において、後期高齢者対象の人間ドック補助件数、食生活改善推進員数は、目標値を上回っていますが、それ以外は横ばい状態となっています。市民満足度調査において、健康づくりの推進は重要度が高く、市民の関心や意識が高いことが伺われます。	「いしおか健康応援プラン」に基づいて,今後も健康づくりに関して普及・啓発を徹底し,事業を推進していきます。
2地域医療 の充実	А	市民の生命と健康のため、初期救急及び第二次救 急医療の運営は順調に実施しています。	市民へのセーフティ ネットの提供のため に,継続して実施しま す。
3子育て環 境の充実	В	児童手当,児童扶養手当,保育等の法に定められた事業については,適正に行っております。また,子育て支援事業等市が独自で行っている事業,「おむつ無料クーポン券配布」「家賃助成」については,経済的支援に貢献していくことが期待できます。この外,保育の受け皿の確保については,平成28年度から,民間保育所にて新設や増改築等の整備が進められ,特に需要の大きい〇〜2歳児の受け皿を拡大しております。	幼児期の学校教育や 保育及び地域の子ど も・子育て支援を総合 的に推進することに り、子どもを産み、育 てやすい環境作りを進 めます。
4高齢者福 祉や介護予 防の充実	В	高齢者の増加に伴い、高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しており、要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき、各種施策や事業が適正な水準で実施されています。	高齢者が生きがいを 高齢者が生きがいる 高齢者ので過ごせる よう社会参加活動を進め、介護予防自立支援を め、介護予防自立支援と の高齢者の自然機関を を進進のもして 連携のして 事等のして いる で、 はでいる を で、 は で、 は で、 は で の は で に を で に を で に を で い し 、 に と で 、 に で に り に り に し 、 と で に と で に と で に と で に と で に と で に と で に と で に と に と

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
5障がい者 福祉の充実	А	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。	障がい者各人の障がい (特徴)を認識し,地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。
6地域福祉 の充実	В	在宅災害時要援護者台帳登録者の地域支援者を確保することが課題ですが、台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。	支援が必要な住民が 住み慣れた地域で今後 も暮らせるよう,行 政,地域住民,民生委 員・児童委員,社会福 祉協議会などが連携し て支援をしていきま す。
7生活困窮 者等の自立 支援	В	生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ149回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。	相談員の質的な向上 を図るとともに、関係 機関とより連携した支 援を行うことができる よう事業の充実を図っ ていきます。
8社会保障 制度の安定 した運営	В	国民健康保険事業では、ウォーキング大会等の生活習慣病予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では目標値には達していませんが、受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。 介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。また、後期高齢者医療制度、医療福祉制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られました。	関係機関との連携を 図り,安定した運営に 努めます。

	政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ		
	基本施策	O1健康づくりの推進		
	具体的取り組み例	予防接種への助成,妊婦や乳幼児健診の実施		

1 総括評価

	評価コメント
В	成果指標において、後期高齢者対象の人間ドック補助件数、食生活改善 推進員数は、目標値を上回っていますが、それ以外は横ばい状態となって います。市民満足度調査において、健康づくりの推進は重要度が高く、市 民の関心や意識が高いことが伺われます。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	「いしおか健康応援プラン」に基づいて,今後も健康づくりに関して普及・啓発を徹底し,事業を推進していきます。

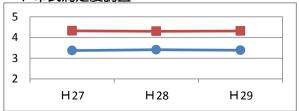
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
成人保健事業 【保険年金課】	人間ドック等の受診者数は前年度比24人増の122人でした。今後も定期的な受診の推進と補助制度の周知に努め、市民が健康で安心した生活を送れるよう寄与します。
成人保健事業 【健康増進課】	受けやすい健(検)診体制を整えます。生活習慣病の予防や健康づくりを推奨し、意識の向上をサポートします。
予防接種事業 【健康増進課】	定期予防接種について、安全に正しく実施していきます。任意予防接種について接種費用の助成を行います。
健康づくり推進事業 【健康増進課】	生活習慣病予防のため,野菜摂取量増加及び適塩の普及啓発活動等を実施します。今後も食生活改善事業を広く周知し,より多くの参加者を募ります。
母子保健事業 【健康増進課】	子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期からの支援を充実させ、子育て 相談がしやすい環境を整えます。母子保健事業は内容の充実を図ります。

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
乳児家庭訪問の実施率	4か月までの乳児のいる家庭 への全戸家庭訪問	%	99.0 (H24)	99.5	98.3
自分の健康に関心のある 女性	市の行なう子宮・乳がん検診 を受診した女性の人数	人	4,219 (H24)	4,500	4,111
人間ドック補助件数	人間ドック・脳ドック・基本 健診有脳ドックの補助件数	件	76 (H24)	145	122
健康づくりに関心のある 市民	食生活改善推進員として健康づ くりに関心をもち活動する人数	人	124 (H23)	130	142



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.37	4.32
平成28年度調査	3.41	4.30
平成29年度調査	3.38	4.32

Ţ	政策目標	5健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ		
基	基本施策	O2地域医療の充実		
Ę	具体的取り組み例	休日・夜間の診療体制の確立,第二次救急診療の当番病 院への運営補助		

1 総括評価

	評価コメント
Α	市民の生命と健康のため、初期救急及び第二次救急医療の運営は順調に実施しています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	市民へのセーフティネットの提供のために,継続して実施します。

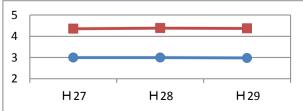
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
保健衛生一般事務費 【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために、継続して実施いたします。		
診療業務費 【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために、継続して実施いたします。		

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
緊急診療・在宅当番医開 設率	緊急診療等の開設予定日に対する実施率	%	100.0 (H22)	100	100
第二次救急医療病院群輪 番制診療実施率	診療予定日における診療実施 率	%	100.0 (H22)	100	100
				_	



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.99	4.36
平成28年度調査	2.99	4.38
平成29年度調査	2.98	4.37

	政策目標	O5健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
	基本施策	03子育て環境の充実
	具体的取り組み例	保育の受け皿の確保,児童クラブの運営

1 総括評価

	評価コメント
В	児童手当,児童扶養手当,保育等の法に定められた事業については,適正に行っております。また,子育て支援事業等市が独自で行っている事業,「おむつ無料クーポン券配布」「家賃助成」については,経済的支援に貢献していくことが期待できます。この外,保育の受け皿の確保については,平成28年度から,民間保育所にて新設や増改築等の整備が進められ,特に需要の大きい〇〜2歳児の受け皿を拡大しております。
	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推定することにより、子どもを産み、育てやすい環境作りを進めます。

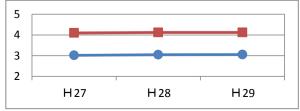
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
保育等運営経費	市町村は教育・保育の必要な児童に対して適切に場の提供をすることになって		
【こども福祉課】	おり、今後も国の単価に基づき算出された公定価格を支払っていきます。		
保育支援関係経費	国の基準を遵守して事業を行っています。今後も多様化する教育・保育		
【こども福祉課】	サービスに対応して実施いたします。		
児童手当経費	制度内容の周知・申請期限など,手続きに関する通知などを引き続き丁		
【こども福祉課】	寧に行います。現況届未提出者の削減に努めます。		
児童扶養手当経費	制度内容の周知・申請期限など,手続きに関する通知などを引き続き丁		
【こども福祉課】	寧に行います。現況届未提出者の削減に努めます。		
子育て支援事業	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進		
【こども福祉課】	することにより,子どもを産み,育てやすい環境作りを進めます。		
放課後児童対策事業	公立児童クラブ運営の効率化,支援員の資質向上と確保に努め,民間学		
【生涯学習課】	童保育事業者の参入を促すため民間委託を検討していきます。		

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

, ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., .,					
指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
地域子育て支援センター 利用者数	年間の延べ利用者数	人	13,563 (H22)	15,000	27,020
待機児童数	入所資格を有するも, 市内の保 育所に入所ができない児童数	人	0 (H22)	0	0
児童クラブ利用者数	学童保育を利用する児童数	人	549 (H22)	700	702



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.02	4.10
平成28年度調査	3.04	4.12
平成29年度調査	3.05	4.12

	政策目標	O5健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ		
基本施策 O4高齢者福祉や介護予防の充実				
	具体的取り組み例	介護予防活動普及のための人材育成,生涯現役で活躍で きる環境づくり		

1 総括評価

	評価コメント
В	高齢者の増加に伴い、高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しており、要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき、各種施策や事業が適正な水準で実施されています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	高齢者が生きがいをもって現役で過ごせるよう社会参加活動を進め,介護 予防事業による高齢者の自立支援を促進し,関係機関との連携のもとで,高 齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。

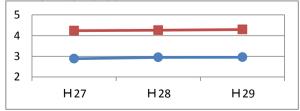
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
在宅老人サービス事業 【高齢福祉課】	今後も高齢者が自立した生活を維持できるように継続的に事業の実施を行います。		
介護保険特別会計(総 括)	平成29年度までは現在の第6期計画に基づき事業を実施します。併せて 第7期計画策定の作業を行い,平成30年度から第7期計画に移行します。		
介護サービス事業会計 (総括)【高齢福祉課】	国は介護サービスの効率化及び重点化を図り、必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改革に合わせ、事業の展開を行っていきます。		

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
要支援•要介護認定者率	65歳以上の高齢者に占める 要支援・要介護認定者の割合	%	16.27 (H24)	16.32	17.03
施設入所率	65歳以上の高齢者に占める 施設入所者の割合	%	3.6 (H24)	3.8	3.3
ケアマネジメント数	要支援1・2等のケアプラン作成件数	件	3,394 (H22)	3,842	4,406
シルバーリハビリ体操指 導士養成数	シルバーリハビリ体操指導士 3級養成延数	人	0 (H22)	100	92



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.88	4.24
平成28年度調査	2.95	4.26
平成29年度調査	2.95	4.29

Ī	政策目標	O5健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ		
	基本施策	O5障がい者福祉の充実		
	具体的取り組み例	障害福祉サービス費の給付,補助装具の支給,地域活動 支援センターの運営		

1 総括評価

	評価コメント
Α	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。
A 順調 D 概念順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	障がい者各人の障がい(特徴)を認識し,地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

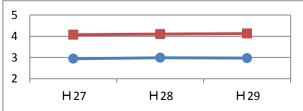
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
障害者自立支援給付事業 【社会福祉課】	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付、補装具費の支給等により障害者を支え、自立や社会参加の推進が図られるため適切と考えます。
障害者地域生活支援事業 【社会福祉課】	地域で生活する障害者のニーズを踏まえ,地域の実情に応じた事業を実施し,障害者の自立を支援していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
障害者就労施設への物品 等発注	光注 ひに呼音有効力地或の数	施設数	4 (H25)	9	6
障がい者と健常者の交流	障がい者スポーツ大会へのボ ランティア参加者数	人	67 (H25)	90	90



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.94	4.07
平成28年度調査	2.99	4.10
平成29年度調査	2.97	4.13

K	政策目標 O5健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ		
基	基本施策	06地域福祉の充実	
Ę	3 (TC D(1 B) / /) XH AJ (b)	地域住民や専門家等による支援体制の整備,支援 な一人暮らし世帯の見守り活動	受が必要

1 総括評価

	評価コメント
В	在宅災害時要援護者台帳登録者の地域支援者を確保することが課題で すが、台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保 を進めていく必要があります。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう,行政,地域住民,民生委員・児童委員,社会福祉協議会などが連携して支援をしていきます。

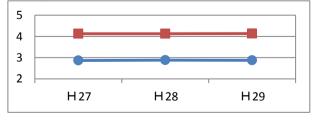
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
民生委員等経費 【社会福祉課】	民生委員・児童委員が地域と行政のパイプ役となることで,援助を必要とする人が地域で自立した生活を営めるように支援します。
介護保険特別会計(総 括)	平成29年度までは現在の第6期計画に基づき事業を実施します。併せて 第7期計画策定の作業を行い,平成30年度から第7期計画に移行します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
災害時要援護者に対する 近隣支援者数	災害時要援護者台帳に登録され た近隣支援者の確保割合	%	52.8 (H25)	80	49.63
地域ケアシステムチーム 数	年度内の在宅ケアチーム数	チーム	184 (H22)	180	163



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.87	4.13
平成28年度調査	2.88	4.13
平成29年度調査	2.88	4.13

Ī	政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ	
	基本施策	O7生活困窮者等の自立支援	
	具体的取り組み例	生活困窮者の求職支援, ハローワークと連携した就労支 援	

1 総括評価

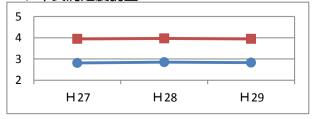
	評価コメント
В	生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ149回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性	
生活保護適正実施推進事 業【社会福祉課】	国のセーフティーネット支援対策事業に基づき運用していきます。	
生活保護費 【社会福祉課】	今後も生活保護法に基づいた事業運営を行っていきます。	
生活困窮者自立支援事業 【社会福祉課】	就労支援の専門員の活用やハローワークとの連携により,求職活動の支援を行い自立を促していきます。	

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
就労による自立世帯数	就労した世帯のうち, 増収に伴い生活保護から自立した世帯の割合	%	26 (H24)	30	22.78
生活保護廃止世帯のうち 自立した世帯数	生活保護が廃止された世帯のうち自立により廃止された世帯の割合	%	38 (H24)	40	37.97
				_	



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.82	3.95
平成28年度調査	2.85	3.97
平成29年度調査	2.83	3.94

政策目標	O5健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	08社会保障制度の安定した運営
具体的取り組み例	ウォーキング大会の実施などによる生活習慣病予防活 動,介護サービスの実施

1 総括評価

	評価コメント
В	国民健康保険事業では、ウォーキング大会等の生活習慣病予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では目標値には達していませんが、受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。 介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。また、後期高齢者医療制度、医療福祉制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	関係機関との連携を図り,安定した運営に努めます。

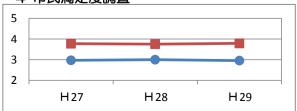
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国民健康保険会計(総	平成30年度から都道府県が市町村とともに国保の運営を担います。市町村は
括)【保険年金課】	被保険者の実状を把握した上で,地域におけるきめ細かい事業を行います。
後期高齢者医療会計(総 括) 【保険年金課】	茨城県後期高齢者医療広域連合と連携のもと,市の担当業務を適正に進めます。 す。徴収事務は,公平公正な保険料徴収に努め,徴収率向上を目指します。
医療福祉一般事務費 【保険年金課】	今後も制度改正に留意し、条例等に基づき事業を適正に実施していきます。
医療福祉市単独事業 【保険年金課】	県制度の改正も関与してくるため、制度改正等に留意し、条例等に基づき事業 を適切に実施していきます。
介護保険特別会計(総 括)	平成29年度までは現在の第6期計画に基づき事業を実施します。併せて第7期計画策定の作業を行い,平成30年度から第7期計画に移行します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
国民健康保険税収納率 • (一般被保険者分)	国民健康保険税収納額/国民 健康保険税調定額	%	87.3 (H22)	90	91.08
特定健康診査実施率	特定健康診查受診者数/特定 健康診查受診対象者数	%	30.2 (H22)	60	36.5 (H27)
特定保健指導指導率	特定保健指導実施者/特定保 健指導対象者数	%	21.3 (H24)	60	42.4 (H27)
介護(介護予防)サービ ス利用者数	居宅介護・地域密着型・施設 サービス利用者数	人	30,196 (H22)	35,100	39,388



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.97	3.77
平成28年度調査	3.00	3.75
平成29年度調査	2.96	3.79

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
O1創意あ る学校教育 の推進	В	目標値に達していない指標があるものの, ふるさと学習を取り入れるなど, 各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また, 学校給食の実施においては, 地元産の食材の使用率が向上しました。	学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。
2学校施設 の整備・充 実	В	校舎の耐震化及び普通教室への空調整備は全て完了し、安全で快適に学べる環境づくりが達成されました。	小中学校の適正規 博・適正配置等を推進 することで、児童生徒 のより良い学習環境の 生活環境、人間関係の 生活環境を目指しの整ま に数育環境の整っ を目指します。
3生涯学習 の推進	А	生涯学習情報の収集や提供を行い、生涯学習の推進を推進を図っております。市民の「生きがい」創出や、知識・経験ともに豊富な地域の人材を大いに活用し、社会還元型の生涯学習を進めます。	市民が生涯いきいき とした生活が送れるた めの事業を実施すると ともに、幅広い年齢層 への広報活動を促進し ます。
4生涯ス ポーツの推 進	В	前年度は天候の影響による体育施設利用人数の減少,スポーツ種目の増加・多様化等による体育協会加盟登録人数の減少,少子化の影響によるスポーツ少年団登録人数の減少により成果指標の目標値の達成はできませんでした。 石岡つくばねマラソンやサイクリング等のイベント並びに石小プール利用者,テニス場については、参加者が前年より増加し、さらにウォーキングコースの整備により、スポーツに親しむ環境の提供ができたとともに健康増進の効果が認められます。今後は、目標の達成や市民満足度の向上に向け検討が必要です。	少子高齢化や多種多様なニーズに応えられるよう,施設の維持管理や環境整備を行います。
5文化・芸 術の推進	А	各事業内容に応じて計画的な事務事業の取り組みを行うことができました。市民会館やイベント広場は、施設の特性に応じた活用が図られ、地域の文化振興や催事の拠点として、一定の役割を果たしています。また、文化芸術団体等の自主的な文化芸術活動の支援を通じて、市民が多様な文化芸術活動に参加する機会の充実を図ることができました。	施設の適正な管理と 維持に努めながら, はの文化施設の拠取ないが拠取ないが必要営にではなるよす。 を選挙を進大を選挙を を連携を を連携のでは でである。 を連携のでは でである。 を連携のでは でである。 を連携のでは でである。 を でである。 を でである。 を でである。 を でである。 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
6青少年の 健全育成	А	青少年の健全育成に関する各種事業を実施し、青 少年の健全育成を目指しています。家庭、学校、地 域と連携をとりながら、指導体制の充実や社会環境 の健全化活動により、地域に根差した活動を推進し ています。 子ども会事業の実施および子ども会指導者等の育 成事業を行い、石岡市全体の明るく健やかな子ども の育成を推進しています。	各地区活動の維持, 執行役員を確保するため,事業内容を徐々に 改善し気軽に参加しや すいものへ移行してい きます。
7歴史・文 化財の保 護・活用	А	発掘調査経費,文化財保存及び普及経費の事務事業について各種事務を計画的に進めることができました。指定文化財及び国の登録文化財件数は144件となり、目標値を達成しています。また、市民満足度調査結果の数値も改善されていることから、ふるさと歴史館における定期的な企画展や文化財調査報告会などの取り組みに一定の成果があったと考えられます。	開発行為地や重要遺 構の発掘調査を進める とともに、個々の文化 財の特性に応じた保 護・活用に取り組みま す。

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策 O1創意ある学校教育の推進	
具体的取り組み例	特別講師による多種多様な学習活動の推進, 地元産の食材を活用した学校給食の実施

1 総括評価

	評価コメント
В	目標値に達していない指標があるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地元産の食材の使用率が向上しました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を 活かした学校づくりを推進します。

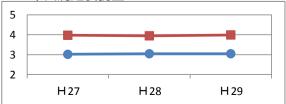
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
語学指導事業 【教育総務課】	AETを活用することで,児童生徒が英語に慣れ親しみ,意欲的に取り組むことができています。今後は、AETの拡充や教員研修等の充実を図っていきます。		
小中学校校務用コンピュー 夕整備事業【教育総務課】	当初の目標である整備は達成しています。今後はハードウェアの整備にあわせ, 校務支援システム等の統一的な導入を検討する必要があります。		
学校いきいきプラン推進事業 (小学校)【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されている。より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深め、経費削減を含めた効率的な実施が必要です。		
学校いきいきプラン推進事業 (中学校) 【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されている。より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深め、経費削減を含めた効率的な実施が必要です。		
八郷給食センター調理業 務経費【学校給食課】	石岡市産の食材使用率のさらなる向上を図り、郷土愛の醸成を図ります。		
石岡給食センター調理業 務経費【学校給食課】	石岡市産の食材使用率のさらなる向上を図り、郷土愛の醸成を図ります。		

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
いきいきプラン年間事業 件数	年間いきいきプラン開催数・		235 (H25)	290	212
英語に興味を持つ児童数 の割合(小学校)	英語でもっと会話をしたいと 思う児童数の割合	%	89.8 (H25)	95	93
英会話県南地区予選最終 選考進出生徒数(中学校)	インタラクティブフォーラム地区予 選最終選考に進出した生徒数	人	2 (H25)	4	0
地場産物の活用	第2次茨城県食育推進計画目標値35%(H27年度)	%	32.0 (H24)	47.0	67.0



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.02	3.98
平成28年度調査	3.05	3.95
平成29年度調査	3.05	3.99

政策目標 06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		
基本施策 O2学校施設の整備・充実		
具体的取り組み例	学校施設の改修工事や耐震化,小中学校への空調設備の 導入	

1 総括評価

	評価コメント
В	校舎の耐震化及び普通教室への空調整備は全て完了し、安全で快適に学 べる環境づくりが達成されました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで,児童生徒のより良い学習環境や生活環境,人間関係の構築を目指し,望ましい教育環境の整ったまちを目指します。

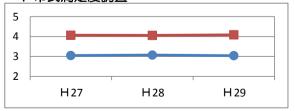
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
学校管理運営経費(小学校)【教育総務課】	限られた予算内で,事業の目的を達成することができた。今後も継続する必要があるが,随時,事業費の削減余地について検討が必要です。
学校管理運営経費(中学 校)【教育総務課】	限られた予算内で、事業の目的を達成することができた。今後も継続する必要があるが、随時、事業費の削減余地について検討が必要です。
学校施設耐震化事業(小 学校)【教育総務課】	平成27年度末をもって耐震化率は100%になりました。
学校施設耐震化事業(中 学校)【教育総務課】	平成27年度末をもって耐震化率は100%になりました。
学校施設環境改善事業(中 学校)【教育総務課】	平成27年度で、普通教室に空調を整備することができました。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
適正規模の学校で学ぶ児 童生徒比率	適正規模の学校で学ぶ児童生 徒数÷児童生徒総数	%	58.7 (H23)	74.1	66.76
学校施設耐震化率	耐震化施設棟数÷全施設棟数 (200㎡以上)	%	77.9 (H22)	100.0	100



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.05	4.07
平成28年度調査	3.07	4.06
平成29年度調査	3.04	4.09

政策目標	政策目標 06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	
基本施策	策 O3生涯学習の推進	
具体的取り組み例	公民館での各種講座・学級の開催,図書館の利用促進	

1 総括評価

	評価コメント
Α	生涯学習情報の収集や提供を行い、生涯学習の推進を推進を図っております。市民の「生きがい」創出や、知識・経験ともに豊富な地域の人材を大いに活用し、社会還元型の生涯学習を進めます。
	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施するととも に、幅広い年齢層への広報活動を促進します。

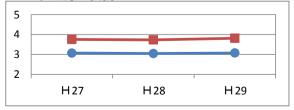
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中央図書館管理運営経費	利用者のニーズに沿った親しみの持てる図書館運営を行い,ボランティ
【生涯学習課】	ア,読書会,同好会,学校等との連携を図っていきます。
中央公民館管理運営経費	市民がいきいきとした生活が送れるよう,各種講座等を開催し,学習の機
【中央公民館】	会を提供します。施設環境を整備するとともに、利用者の拡大を図ります。
放課後子ども教室推進事	地域の協力者やボランティア,学校と連携して事業を実施します。放課後
業【生涯学習課】	児童クラブとの一体的な実施を視野に入れた民間委託を検討します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
放課後子ども教室参加者 数	放課後子ども教室に参加する 児童数	人	-	1,000	2,100
公民館の年間利用者数	同好会・講座等で公民館を利 用した人数	人	59,800 (H22)	53,000	49,952
図書資料蔵書数	一般書, 児童書, 雑誌及び視聴覚資料の総数	作品	194,011 (H25)	225,000	206,260
来館者数	中央図書館への年度間来館者 数	人	128,310 (H25)	140,000	141,769



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.07	3.76
平成28年度調査	3.05	3.74
平成29年度調査	3.08	3.82

政策	目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本	施策	O4生涯スポーツの推進
具体	的取り組み例	つくばねマラソンなどのイベントの実施, ニュースポー ツの推進

1 総括評価

	評価コメント
В	前年度は天候の影響による体育施設利用人数の減少,スポーツ種目の増加・多様化等による体育協会加盟登録人数の減少,少子化の影響によるスポーツ少年団登録人数の減少により成果指標の目標値の達成はできませんでした。 石岡つくばねマラソンやサイクリング等のイベント並びに石小プール利用者,テニス場については、参加者が前年より増加し、さらにウォーキングコースの整備により、スポーツに親しむ環境の提供ができたとともに健康増進の効果が認められます。今後は、目標の達成や市民満足度の向上に向け検討が必要です。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	少子高齢化や多種多様なニーズに応えられるよう,施設の維持管理や環境整備を行います。

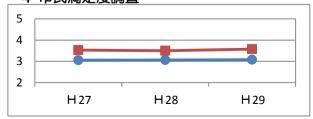
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
スポーツイベント事業 【スポーツ振興課】	市民の健康増進と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めるとともに、市外からの参加者に対して石岡市の魅力を発信します。

<u>※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。</u>

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
体育施設利用人数	体育施設を利用した延べ人数	人	386,720 (H22)	400,000	342,289
石岡市体育協会加盟登録 人数	石岡市体育協会への加盟登録 人数	人	2,406 (H22)	2,400	2,117
スポーツ少年団加盟登録 人数	スポーツ少年団への加盟登録 人数	人	1,012 (H22)	1,000	844
【参考指標】 学校開放利用人数	学校開放により市内小・中学校を利用した人数	人	83,872 (H22)	_	88,893



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.06	3.53
平成28年度調査	3.06	3.50
平成29年度調査	3.08	3.58

	政策目標	O6歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		
	基本施策	O5文化・芸術の推進		
	具体的取り組み例	美術展・芸術祭・文化祭などの開催,文化活動支援		

1 総括評価

	評価コメント
Α	各事業内容に応じて計画的な事務事業の取り組みを行うことができました。市民会館やイベント広場は、施設の特性に応じた活用が図られ、地域の文化振興や催事の拠点として、一定の役割を果たしています。また、文化芸術団体等の自主的な文化芸術活動の支援を通じて、市民が多様な文化芸術活動に参加する機会の充実を図ることができました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	施設の適正な管理と維持に努めながら、地域の文化施設の拠点となるよう な運営に取り組みます。また、文化芸術振興基本計画の策定を進め、各種団 体等と連携及び活動の支援により文化芸術活動の活性化を図ります。

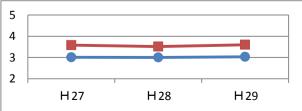
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
施設運営経費	利用者のニーズに沿い,安全性に配慮した市民会館運営を行うととも
【市民会館】	に、利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
施設維持管理経費	利用者のニーズに沿い,安全性に配慮した市民会館運営を行うととも
【市民会館】	に、利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
芸術・文化振興事業	市民と連携し、文化芸術活動の展開に取り組んできました。今後は文化活
【文化振興課】	動を支援するとともに、文化芸術振興基本計画の策定に取り組みます。

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
市民会館施設利用者数	ホール・会議室等(8室)の 利用人数	人	63,958 (H24)	65,000	67,803
石岡市美術展の開催	石岡市美術展の来場者数	人	1,388 (H24)	1,500	1,995
文化協会の育成	文化協会の加盟団体数	団体	33 (H24)	35	36



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	3.01	3.58
平成28年度調査	3.01	3.52
平成29年度調査	3.04	3.60

Ī	政策目標	O6歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	
	基本施策	06青少年の健全育成	
	具体的取り組み例	青少年相談員による街頭活動などの補助・支援, 青少年 を育てる会の活動補助	

1 総括評価

	評価コメント
Α	青少年の健全育成に関する各種事業を実施し、青少年の健全育成を目指しています。家庭、学校、地域と連携をとりながら、指導体制の充実や社会環境の健全化活動により、地域に根差した活動を推進しています。 子ども会事業の実施および子ども会指導者等の育成事業を行い、石岡市全体の明るく健やかな子どもの育成を推進しています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	各地区活動の維持,執行役員を確保するため,事業内容を徐々に改善し 気軽に参加しやすいものへ移行していきます。

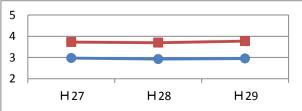
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性		
青少年育成事業 【生涯学習課】	市内高等学校とも交流を行い、相談員活動についても徐々に認知されてきました。今後も、活動の周知に努めていく必要があります。		
子ども会育成事業 【生涯学習課】	限られた人員で効果的な成果を目指すため、効率的な事業推進に努めてまいります。		

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
青少年相談員街頭活動回 数	青少年相談員及び特別青少年 相談員の街頭活動回数		78 (H24)	80	75
青少年を育てる石岡市民 の会事業数	青少年を育てる石岡市民の会 が開催する事業数		6 (H24)	7	7
石岡市子ども会育成連合 会事業数	石岡市子ども会育成連合会が 開催する事業数		6 (H24)	7	7
青少年ボランティア活動 回数	青少年ボランティア団体がボ ランティア活動をした回数		9 (H24)	10	14



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.97	3.73
平成28年度調査	2.92	3.70
平成29年度調査	2.95	3.77

	政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
	基本施策	O7歴史・文化財の保護・活用
	具体的取り組み例	文化財継承のための修理支援、文化財の有効活用

1 総括評価

	評価コメント
Α	発掘調査経費,文化財保存及び普及経費の事務事業について各種事務を計画的に進めることができました。指定文化財及び国の登録文化財件数は144件となり、目標値を達成しています。また、市民満足度調査結果の数値も改善されていることから、ふるさと歴史館における定期的な企画展や文化財調査報告会などの取り組みに一定の成果があったと考えられます。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	開発行為地や重要遺構の発掘調査を進めるとともに、個々の文化財の特性に応じた保護・活用に取り組みます。

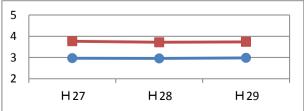
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
発掘調査経費 【文化振興課】	全体的な件数は例年よりやや多いといえます。ただし,依然として全ての 開発を抑え切れていないため,文化財の重要性を市民に広めていきます。
文化財保護保存及び普及 経費【文化振興課】	積極的に普及啓発の推進を図っていきます。また,国指定史跡については,順次,保存・活用計画の策定を進めていきます。

<u>※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。</u>

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
指定文化財及び登録文化 財	国・県・市指定文化財及び登録文化財件数	件	141 (H23)	143	144



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.96	3.77
平成28年度調査	2.95	3.72
平成29年度調査	2.98	3.74

施策名称		総括評価	今後の方向性
1積極的な 情報発信と 対話の充実	В	市長へのたよりやタウンミーティングを実施し、 市民との対話の充実に努めています。また、広報紙 やホームページなどを活用し、積極的な情報発信に 努めています。構成する事務事業の進捗状況から、 当初の目的を達成しつつあります。	市政に関する情報 を、市民と共有する開かれたまちづくりを目指し、積極的かつ的確な情報発信を図り、市民の市政への参画意識を高めてまいります。
2庁舎の整 備・行政 サービスの 充実	В	施設や設備・機器等の経年劣化が進行しているため、改修や修繕・更新等が必要です。現在、本庁では、防災拠点としての機能強化や、より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため、新庁舎建設を進めています。また、行政サービスの充実に向け、マイナンバーカードで各種証明書等の発行ができるキオスク端末機を本庁に設置したことにより一定の効果が期待できます。	庁舎の整備や、キオスク端末機による各種証明書等の発行サービスにより、より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指します。
3地域情報 化の推進	В	ウェブアクセシビリティ基準における, ウェブコンテンツJIS X 8341-3:2010達成等級のA A等級を達成していますが, 新基準のJIS X 8341-3:2016達成レベルAAAを達成できるよう, ホームページの見直しを行い, 維持できるよう努めてまいります。また, 各種システム及び機器の安定稼働を, 年間を通して実施することができました。	石岡本学の 一個では 一個では 一個では 一個では 一個では 一個では 一個では 一個では 一個では 一個では 一のでは 一のでは 一ので 一ので 一ので 一ので 一ので 一ので 一ので 一ので
4広域行政 の推進	В	効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体と一部事務組合を構成し、広域的な行政サービスに取り組んでいます。また、平成28年3月に行方市、小美玉市及び茨城町と締結した「公の施設の広域利用に関する協定書」に基づき、市民の利便性の向上と地域間交流を推進しています。平成28年10月1日に三村簡易水道と湖北水道企業団の統合がなされ、効率的に事業を推進しています。	効率的で効果的な行 政運営を進めるため、 周辺自治体との連携を 推進す る必要があります
5男女共同 参画の推進	С	少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化などが進行する中、豊かで活力ある社会の実現を図るためには、女性の活躍推進が不可欠であり、男女共同参画の理念が重要となっています。審議会等への女性の積極的な登用や理念啓発のためのセミナーへの参加者の確保などが課題となっております。	第1次男女共同参画基本計画が平成29年度に終了することから,市民の意識変化を把握する調査を実施しました。本年度は,計画の検証等を行い,新たな計画の策定を進めます。

07時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6国際交流 の推進	А	国際交流団体との連携体制を構築し、施策を推進しています。平成27年度に見直しを実施した、市内居住の外国人向け「多言語版くらしの便利帳」の活用など、外国人が暮らしやすいまちを目指しています。 石岡市国際交流団体連絡協議会:平成26年8月に、国際交流活動を行う市内団体等の相互の情報交換等を目的に発足した協議会です。	市と市内国際交流団体が連携し、東京でででは、 をでででででででででででででででででででででででででででででででででででで
7人材育成 の強化	В	石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また、職員の健康管理については、健康診断後の保健指導が必要な職員へのフォローアップとともに、心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を実施することなどのメンタルヘルス対策を行っています。	今後とも基本的な研修だでなる。 をだけでななないでは、 をでななないでででででででできる。 をでは、 でででででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でい。 でいる。 でい
8行財政改 革の推進	В	行財政改革実施計画に取り組み、公共サービスを 提供するために必要となる、人財・財産・財源・情 報の行政資産を強化しております。平成28年度は 45の実施項目中32の実施項目について、取り組み を実施しました。	行財政は基 大綱に基 対き策定している実施 計画の有効性を維持するため、個々の実施 目について毎直しの 目についで見直目の にでいたでは が、名に応じて内容の が、にいます。

Į	改策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基	基本施策	O1積極的な情報発信と対話の充実
Ę	具体的取り組み例	タウンミーティング等の対話の実施, 戦略的・効果的な 情報発信

1 総括評価

	評価コメント		
В	市長へのたよりやタウンミーティングを実施し、市民との対話の充実に 努めています。また、広報紙やホームページなどを活用し、積極的な情報 発信に努めています。構成する事務事業の進捗状況から、当初の目的を達 成しつつあります。		
A 順調	今後の方向性		
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	市政に関する情報を,市民と共有する開かれたまちづくりを目指し,積極的かつ的確な情報発信を図り,市民の市政への参画意識を高めてまいります。		

2 主要事業の概要

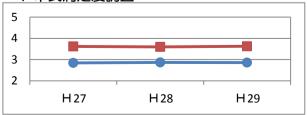
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
議員活動運営経費	議会基本条例制定後、初めての議会報告会が開催される等、積極的な情報
【庶務議事課】	発信がなされました。今後も正確・迅速に情報発信を行います。
市民相談経費	年々複雑・多様化する多くの市民相談に対応するため、専門家による相談
【秘書広聴課】	(弁護士・司法書士等)は、市民ニーズが高いため継続して行います。
広報活動経費	広報紙において情報を分かりやすく伝えるため、レイアウト等をさらに工夫しま
【秘書広聴課】	す。HP等における即時性などの特性を生かし,積極的な情報発信に努めます。

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
ホームページアクセス件 数	市ホームページへのアクセス 件数	件	304,323 (H22)	450,000	197,737*
ホームページアクセス件 数	議会ホームページへのアクセ ス件数	件	20,506 (H22)	24,000	22,051
市民からの市政への提案数	「市長へのたより」における 提案型の内容の割合	%	15 (H24)	30	36
年間の市例規集の更新回 数	例規集を随時更新し、最新の例規情 報を市民に公表します。		10 (H24)	12	13

[※]一定時間内の同一パソコンからのアクセスは何度アクセスしても1件とする計測方法により算出しています。



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.84	3.62
平成28年度調査	2.86	3.59
平成29年度調査	2.86	3.62

	政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
	基本施策	O2庁舎の整備・行政サービスの充実
	具体的取り組み例	住民票等自動交付機の運用や窓口延長サービス, 防災機能を備えた使いやすい新庁舎整備

1 総括評価

	評価コメント
В	施設や設備・機器等の経年劣化が進行しているため、改修や修繕・更新等が必要です。現在、本庁では、防災拠点としての機能強化や、より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため、新庁舎建設を進めています。また、行政サービスの充実に向け、マイナンバーカードで各種証明書等の発行ができるキオスク端末機を本庁に設置したことにより一定の効果が期待できます。
A 順調	今後の方向性
│ B 概ね順調 │ C 遅れている │ D 見直しが必要	庁舎の整備や,キオスク端末機による各種証明書等の発行サービスにより,より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指します。

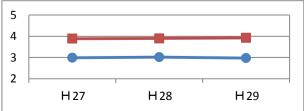
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
自動交付機運用経費【情報政策課】	コンビニ証明書発行取扱店の拡大状況や番号制度の国動向も踏まえ,利用者の利便性向上を可能とするシステムの維持管理,構築検討を行っていきます。
新庁舎建設事業 【管財課】	新庁舎建設工事の進捗状況など,適切な時期に広報等を行い,市民の理解を得ながら早期の完成を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
自動交付機の利用率の向 上	いしおか市民カード, 住民基 本台帳カードの保有率	%	48.0 (H23)	60	I



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.99	3.89
平成28年度調査	3.02	3.90
平成29年度調査	2.97	3.92

		政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策 O3地域情報化の打		基本施策	O3地域情報化の推進
		具体的取り組み例	情報システム基盤の最適化やセキュリティ強化,公共施 設予約システムの構築

1 総括評価

	評価コメント
В	ウェブアクセシビリティ基準における、ウェブコンテンツJIS X 8341-3:2010達成等級のA A 等級を達成していますが、新基準のJIS X 8341-3:2016達成レベルAAAを達成できるよう、ホームページの見直しを行い、維持できるよう努めてまいります。 また、各種システム及び機器の安定稼働を、年間を通して実施することができました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	石岡市地域情報化計画に基づき、国・県の計画と整合性を図りながら、システムのクラウド化等、新たな技術動向や社会動向等を調査研究し、時代に即した効率的な行政運営を図るため、業務システムの最適化を目指します。また、ウェブアクセシビリティ達成レベルAAAを継続して維持します。

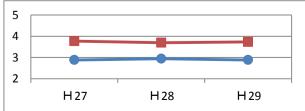
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
電算業務経費 【情報政策課】	基幹系システムの安定運用を行うことで、継続的住民サービスを可能とすると共に,新たな技術動向を踏まえ,より信頼性のあるシステム構築を行います。

<u>※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。</u>

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
ウェブアクセシビリティ 達成基準	ウェブコンテンツ「JIS X 8341-3:2010に準拠」の達成等級	等級	A (H24)	АА	AA
各種システム・機器の安 定稼動	各種システム及び機器の安定 稼動を継続します。		365 (H22)	365	356



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.88	3.77
平成28年度調査	2.94	3.70
平成29年度調査	2.88	3.73

		政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ		
		基本施策	O4広域行政の推進		
		具体的取り組み例	周辺自治体との連携強化,広域事務処理の見直し		

1 総括評価

	評価コメント
В	効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体と一部事務組合を構成し、広域的な行政サービスに取り組んでいます。また、平成28年3月に行方市、小美玉市及び茨城町と締結した「公の施設の広域利用に関する協定書」に基づき、市民の利便性の向上と地域間交流を推進しています。平成28年10月1日に三村簡易水道と湖北水道企業団の統合がなされ、効率的に事業を推進しています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体との連携を推進する必要があります。

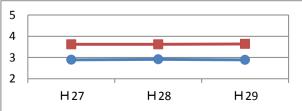
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
諸協会等関係経費	広域的地域振興のため,構成市と連携し情報収集を行います。各団体の
【秘書広聴課】	事業を通じ,国・県へ要望活動を行い,市民の福祉向上を図ります。
石岡地方斎場組合負担金 【生活環境課】	「石岡地方斎場」運営管理のための構成市町村負担金,適正な管理運営により利用者の満足度向上に努めます。
広域行政の推進	地域の魅力の向上を図るため、平成28年度から周辺自治体と連携し、
【政策企画課】	図柄入り土浦ナンバーの検討を進めています。

[※]主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
定住自立圏構想勉強会等 の開催	定住自立圏構想勉強会等の開催回数		1 (H22)	1	3
市民一人当たりのサービ ス負担額	一部事務組合(ごみ, し尿, 斎場)等の負担金÷人口	円年	12,014 (H22)	10,800	10,852



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.89	3.62
平成28年度調査	2.91	3.62
平成29年度調査	2.89	3.64

	政策目標 O7時代の変化に的確に対応できるまちへ			
基本施策 O5男女共同参画の推進				
	具体	体的取り組み例	女性のための困りごと相談の実施, ナーの開催	男女共同参画セミ

1 総括評価

	評価コメント
C	少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化などが進行する中,豊かで活力ある社会の実現を図るためには,女性の活躍推進が不可欠であり,男女共同参画の理念が重要となっています。審議会等への女性の積極的な登用や理念啓発のためのセミナーへの参加者の確保などが課題となっております。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	第1次男女共同参画基本計画が平成29年度に終了することから、市民の意識変化を把握する調査を実施しました。本年度は、計画の検証等を行い、新たな計画の策定を進めます。

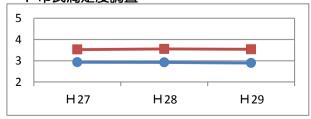
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
男女共同参画推進事業 【政策企画課】	男女共同参画への意識啓発事業を実施します。また、市民意向や国等の動きを反映させた「第2次石岡市男女共同参画基本計画」を策定します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
審議会等委員の女性の登 用率	市の審議会等における女性委員の割合	%	13 (H22)	30	23.6



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.93	3.53
平成28年度調査	2.92	3.55
平成29年度調査	2.89	3.54

	政策目標 O7時代の変化に的確に対応できるまちへ		
基本施策 O6国際交流の推進			
	具体的取り組み例	国際交流活動を行う団体への事業支援,外国人のための ハンドブック作成	

1 総括評価

	評価コメント
Α	国際交流団体との連携体制を構築し、施策を推進しています。平成27年度に見直しを実施した、市内居住の外国人向け「多言語版くらしの便利帳」の活用など、外国人が暮らしやすいまちを目指しています。 石岡市国際交流団体連絡協議会:平成26年8月に、国際交流活動を行う市内団体等の相互の情報交換等を目的に発足した協議会です。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	市と市内国際交流団体が連携し、交流団体の活動を支援するとともに、 国際交流への関心を高めていきます。また、異なる文化や考え方をお互い に理解しあい、ともに支えあう多文化共生社会の実現は重要な課題です。

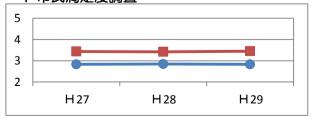
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性			
国際交流事業 【政策企画課】	市と市内の国際交流団体が役割を分担し、より効率的な国際交流の推進を図っていく必要があります。			

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
国際交流活動参加者数	「国際交流のつどい」来場者 数	人	1,000 (H22)	1,000	1,200



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.83	3.44
平成28年度調査	2.84	3.42
平成29年度調査	2.83	3.45

政策目標	O7時代の変化に的確に対応できるまちへ	
基本施策 O7人材育成の強化		
具体的取り組み例	各種研修の実施による職員の能力向上	

1 総括評価

	評価コメント
В	石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また、職員の健康管理については、健康診断後の保健指導が必要な職員へのフォローアップとともに、心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を実施することなどのメンタルヘルス対策を行っています。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後とも基本的な研修だけでなく、専門的及び実践的な研修に力を入れ、職員に必要とされる能力を育成するため様々な研修を実施します。職員の健康管理については、引続き健康診断後の職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策に取り組みます。

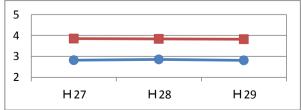
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性	
職員研修経費 【総務課】	アンケート等により一定の成果が表れています。今後も研修効果を高めるため,目標設定やフォローアップアンケート等の業務に活かす取り組みを行います。	
職員福利厚生費 【総務課】	職員の健診受診率100%を目指す一方で、要精密検査の該当職員や健康指導が必要な職員へのフォロー体制やメンタルヘルス対策の強化が必要です。	

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
各種研修の受講者数	真に求められている研修を開催・ し、学ぶ機会を拡大します。	人	1,175 (H22)	1,350	2,001



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.82	3.85
平成28年度調査	2.85	3.84
平成29年度調査	2.81	3.82

政策目標 O7時代の変化に的確に対応できるまちへ		07時代の変化に的確に対応できるまちへ
	基本施策	O8行財政改革の推進
	具体的取り組み例	行財政改革大綱に基づく効率的な行政運営

1 総括評価

	評価コメント
В	行財政改革実施計画に取り組み、公共サービスを提供するために必要となる、人財・財産・財源・情報の行政資産を強化しております。平成28年度は45の実施項目中32の実施項目について、取り組みを実施しました。
A 順調	今後の方向性
B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング(見直し)を行い、各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。

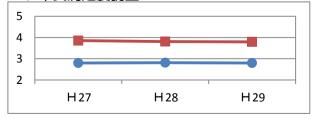
2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性	
行財政改革推進事業 【行革推進課】	平成28年度は45の実施項目中32の実施項目について,取り組みを実施しました。今後も行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため,個々の実施項目について毎年度ローリング(見直し)を行い,各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。	

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H28 (実績値)
石岡市行財政改革実施計 画の実施項目	実施項目のうち取組実施数	項目	1	45	32



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成27年度調査	2.80	3.86
平成28年度調査	2.81	3.81
平成29年度調査	2.80	3.79